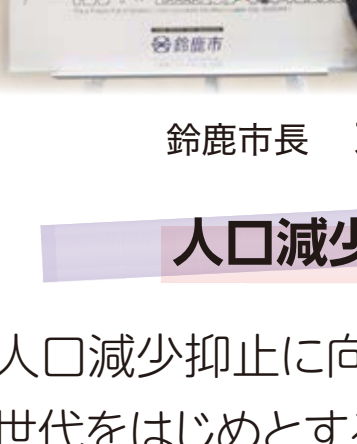


令和7年2月市議会定例議会の開会にあたり、市政運営の基本方針と予算編成に対する考え方を表明しました。今回の特集は、その概要をお知らせします。

「#最高に住みやすいまち鈴鹿」の実現に向けて

本市は、令和6年4月にスタートした「鈴鹿市総合計画2031」のもと、将来都市像に「ひとがつながり DXで未来を拓く #最高に住みやすいまち鈴鹿」を掲げ、その実現に向けたまちづくりを進めています。

本計画で、人口減少抑止策と人口減少社会適応策を両輪とした「人口減少対策」と、これからの時代を見据えた「DXの推進」に全力で取り組む方向性を掲げています。



鈴鹿市長 末松 則子

人口減少の抑止

人口減少抑止に向けて、まずは、子育て世代をはじめとする若い世代の皆さんに住み続けていただけるよう、妊娠・出産期から子育ての時期に至るまで、途切れない支援を行い、子育てをしやすい環境、こどもが安心して成長できる環境を整えてきました。

その成果として、本市は民間機関が実施した「自治体の子育て支援制度に関する調査」の、「共働き子育てしやすい街ランキング」で、3年連続で非常に高い評価を受けています。

引き続き、時代に合った子育てニーズを把握することで、より子育てがしやすいと市民の皆さんに実感いただけるようにさらに施策を推進していきます。

人口減少社会への適応

人口減少社会への適応について、人口構造が変化しても、質の高いサービスを持続的に提供できる仕組みを構築していかなければなりません。

公共交通、地域医療、教育の充実など、多くの分野で、少子化、高齢化に伴う人口構造の変化の推移を的確にとらえながら、施策を推進していきます。

また、老朽化する公共建築物やインフラへの対応も喫緊の課題であり、これら公共施設などで提供されるサービスの将来的なあり方の検討を含め、行財政改革の視点を取り入れながら、公共施設マネジメントを効果的に推進していきます。

DXの推進

DXを推進するため、令和6年度から、外部人材にDX推進監を委嘱し、デジタル化を加速させています。

昨年10月には、生成AIを本格導入し、職員の企画立案や文書作成の補助ツールとして活用しています。

今後も、デジタル化の推進により、市民の皆さんの生活利便性の向上と、効率的な行政経営に向けた仕組みへの転換を図り、本市の住みやすさを実感いただけるような施策を展開していきます。



人口減少対策を前進

6つの推し!

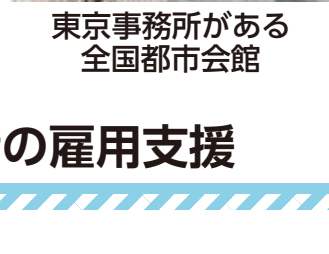
1 (仮称)人口減少対策会議の設置

「(仮称)人口減少対策会議」を開催し、新たな評価体制を構築した上で、外部有識者などの意見を取り入れながら、より効果的な人口減少社会への対応策を検討します。



2 鈴鹿市東京事務所の運営

4月1日に開設した東京事務所を首都圏における拠点とし、国などの行政機関や、その他関係団体からの情報収集、本市の魅力発信、民間企業との連携などを強化することで、経営資源の獲得につなげます。



東京事務所がある
全国都市会館

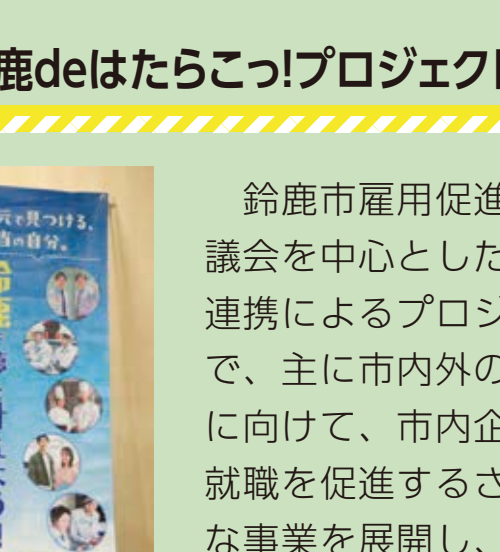
3 保育補助者の雇用支援

保育補助者の雇用に必要な費用を支援することにより、保育士の業務負担を軽減し、離職防止を図り、安定的な保育サービスの提供につなげます。

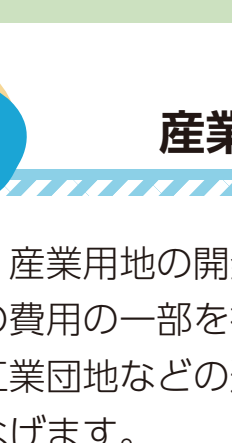


4 新たな小学校の開校に向けたスクールバス運行の準備

令和8年度からの新たな小学校の開校に向けて、施設整備を進めるとともに、児童の安全な通学環境を確保するため、スクールバス運行の事前準備など、円滑な移行に向けた取り組みを進めます。



5 鈴鹿delはたらこっ!プロジェクトの実施



鈴鹿市雇用促進連携協議会を中心とした産学官連携によるプロジェクトで、主に市内外の若年層に向けて、市内企業への就職を促進するさまざまな事業を展開し、雇用拡大につなげます。

6 産業用地の開発支援

産業用地の開発を行う事業者に対して、その費用の一部を補助することにより、新たな工業団地などの造成を促進し、企業立地につなげます。



工業団地のイメージ

鈴鹿市総合計画 2031に掲げる 6つのビジョンごとに 主な事業を紹介します。

ビジョン1 子どもが輝き 人と文化を育むまち

● 児童・生徒1人1台端末の更新

小・中学校に導入した児童・生徒の1人1台端末を更新し、学習支援、オンライン授業、デジタル教科書や電子書籍の閲覧などの教育DXをさらに進め、全てのこどもたちの学びを保障します。



● 電子図書館の開設

市立図書館で、電子書籍の閲覧と貸し出しができる環境を整えます。場所や時間を選ばず閲覧、貸し出しできる電子書籍の特性を生かし、利用者サービスの拡大を図ります。



図書館

ビジョン2 健やかにいきいきと 暮らせるまち

● こども医療費助成を18歳まで拡充

こども医療費助成の対象年齢を現在の15歳から18歳まで拡充し、子育て世代の経済的な負担を軽減することにより、安心してこどもが医療を受けられる環境を整備します。

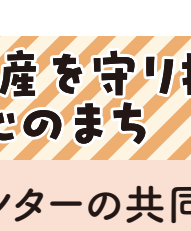


● 認知症対策として補聴器購入費を助成

50歳以上の軽度・中等度難聴者へ補聴器の購入費を助成し、聴力低下によるコミュニケーション不足を防ぐことで、認知症や、うつ病などの発症リスクの低減を図ります。



耳穴型補聴器



耳掛け型補聴器

ビジョン3 生命と財産を守り抜ける 安全・安心のまち

● 三重中央消防指令センターの共同整備

令和8年度から津市、鈴鹿市および亀山市で消防通信指令業務を共同で実施するため、三重中央消防指令センターを3市共同で整備します。



消防指令室

● 総合防災情報システムを新たに導入

経年劣化が進んでいる既存の防災行政無線の仕組みを整理し、機能強化を図るとともに、災害時における情報伝達を迅速かつ確実に行うため、新たに総合防災情報システムの整備を進めます。



市内の防災スピーカー

ビジョン4 自然と調和し 快適な都市 環境を未来へつなぐまち

● バス・ロケーションシステムの導入

C-BUSの現在地がスマートフォンなどから確認できるように、バス・ロケーションシステムを導入することで、利便性向上を図り、利用者の拡大につなげます。



● 市営住宅に指定管理者制度を導入

令和8年度から市営住宅に指定管理者制度を導入し、入居率の向上や管理運営の効率化によるサービス向上を図ります。併せて、3階建て以上の市営住宅の駐車場を有料化し、駐車場の適正な管理を行います。



潮風の街磯山

ビジョン5 持続可能な産業の発展と にぎわいや交流が生まれるまち

● 創業支援制度の創設

市内で創業する市民を対象に創業時の初期費用の補助や、補助を受けた方に経営力強化講座を実施し、地域経済の活性化を図ります。



● 農業者セミナーの開催

農業者セミナーを開催し、農業経営に関する学びの場を提供することで、未来の農業者の育成や、経営の継続・継承につなげます。



野菜の収穫を行う農業者

ビジョン6 みんなで支える 自分らしく生きるまち

● 電子申請システムの拡充

電子申請システムの機能を拡充させることにより、行政手続などのオンライン化を推進し、市民の利便性の向上と業務の効率化を図ります。



● オンライン初級日本語教室の開催支援

鈴鹿国際交流協会に対して、企業で働く外国人市民を対象とする「オンライン初級日本語教室」の実施に必要な経費を補助することにより、外国人労働者が日本語を学習できる環境を整備します。



オンライン日本語教室の様子